

議会活性化特別委員会 活動総括(平成30年12月～令和3年11月)

議会活性化特別委員会のミッション

議会活性化特別委員会は
平成30年12月5日設置

★ 舞鶴市議会基本条例実行計画の具体化と着実な遂行

→ 平成30年に制定した舞鶴市議会基本条例の理念の実現を目指して適切かつ確実に取組を実施していくために策定した実行計画を具体化し、着実に遂行できるよう進行管理を行う。

平成30年12月～令和元年11月

- 委員会を計15回開催、他市の視察により先行事例を調査
- ◆ グループウェア・ペーパーレス会議システムの運用を開始 など

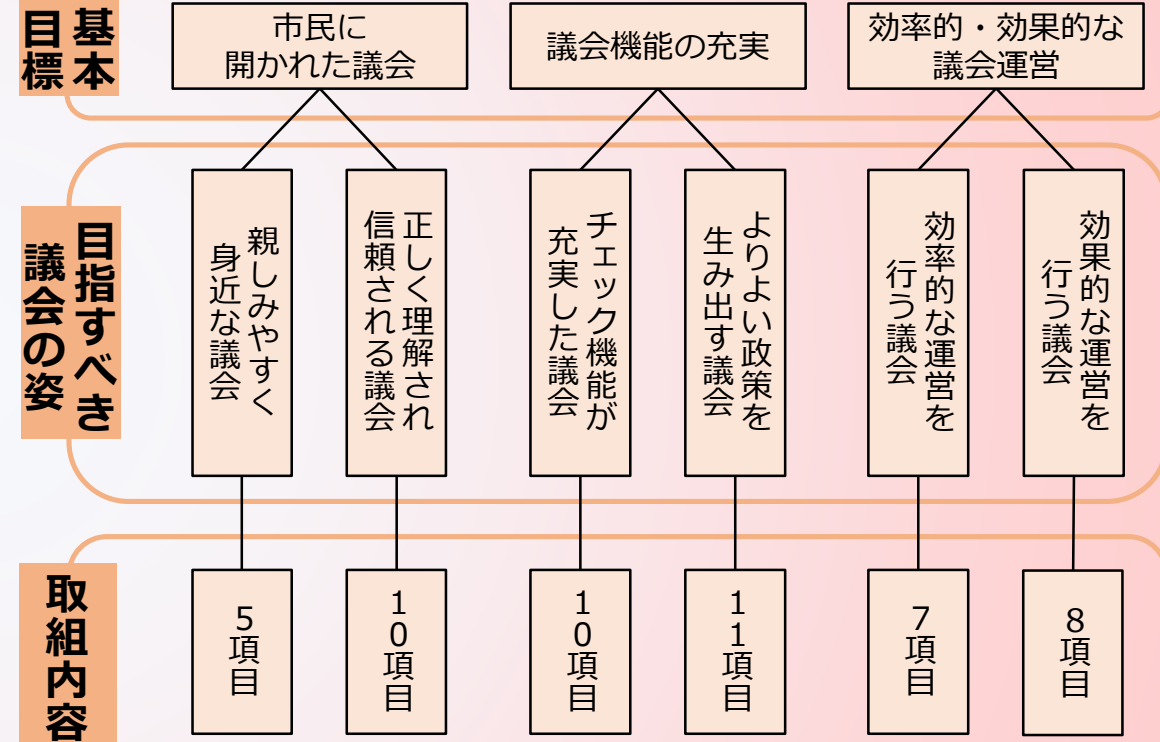
令和元年12月～令和2年11月

- 委員会を計21回開催
- ◆ ホームページを軸としたクロスメディアによる情報発信 など

令和2年12月～令和3年11月

- 委員会を計33回開催、オンライン視察により先行事例を調査
- ◆ 議員定数及び議員報酬について議論し、定数1減を決定 など

舞鶴市議会基本条例に基づく第20期実行計画



重複を除いて全部で39の取組項目



おおむね具体化を終え、今後は、取組の検証や見直しに移行する段階であり、議会運営委員会において議論していくことが適当。

議会活性化特別委員会 活動総括(平成30年12月～令和3年11月)

「市民に開かれた議会」に関する取組

【児童生徒の議会学習機会の提供】

令和2年には5小学校(147人)が実施

小中学校及び高等教育機関の学習の一環として、議会の機能や役割について学ぶ機会(議会学習会等)を提供

【効果的な情報発信の検討】

舞鶴市議会公式FacebookやYouTubeチャンネルの開設なども行いつつ、ホームページや市議会だよりを軸としたクロスメディアによる情報発信を展開

Facebookフォロワー数: 364 YouTubeチャンネル登録者数: 192 (R3.11.10時点)

【市民意見を反映させる仕組みの検討】

市民との意見交換の場の在り方について検討し、ワークショップ形式で、市民と議員が一緒になって考える「市民と議会のわがまちトーク」を実施

令和元年8月には市民132人参加により実施

【本会議・委員会の映像配信】

議場のシステム更新に伴い、本会議の配信映像に資料を表示させる運用を開始したほか、議案審査を行う委員会等もインターネット配信(ライブ・録画)を開始

令和3年9月定例会は本会議1日平均332回、1委員会平均71回再生

【活動記録の在り方・見せ方の検討】

会議録の巻末に会議資料を掲載することとしたほか、会議の開催状況や取組状況をまとめた議会年報、トピックスを簡潔にまとめた資料を作成してホームページで公開



議会学習会



市議会だより



Facebook



YouTube



動画による定例会の報告



市民と議会のわがまちトーク



委員会の映像配信



トピックス

議会活性化特別委員会 活動総括(平成30年12月～令和3年11月)

「議会機能の充実」に関する取組

【舞鶴市総合計画の点検評価】

常任委員会単位で点検評価を実施

点検評価の実施方法について検討し、見直しを行いながら、舞鶴市総合計画・実行計画の進捗状況を確認し、より良い取組に向けた委員会としての意見を取りまとめて市へ提出

【参考人制度の活用】

原子力防災・安全等特別委員会や
市内造船事業に関する調査特別委員会で参考人を招致

当事者の意見や専門的な意見を聴取するために参考人を招致し、調査や審査に反映

【議員力の向上】

予算・決算審議や一般質問に関する研修等を実施

他の市や機関が開催する研修会への参加のほか、定期的に議員研修会を開催し、議員力の向上に向けて調査研究

【代表質問・一般質問の活用】

代表質問や一般質問の機会を有効に活用するため、質問の在り方や方式のほか、資料を使った質問などについて検討し、随時検証

【通年議会の検討】

通年議会（おおむね1年間を通じて会期を設定すること）について検討し、今後、より具体的に協議していくことを確認

【政策提言に向けた委員会活動】

令和3年11月4日に計11の提言を市長に提出

各常任委員会が定める重点事項について、先進事例の調査や現状調査、市民意見の聴取などを通じて政策を取りまとめ、市へ提言



総合計画の点検評価



委員会における参考人招致



議員研修会



資料を使った質問



市への政策提言



災害時の議会機能維持訓練

議会活性化特別委員会 活動総括(平成30年12月～令和3年11月)

「効率的・効果的な議会運営」に関する取組

【会議の在り方の検討】

各種会議の運営方法等について、内容に応じた適切な在り方を検討し、議員協議会の見直し等を実施

【議員の定数及び報酬の検討】

合計32回の検討機会にて慎重に議論

有識者の意見、市民との意見交換会、議員の活動量の調査、議員間討議、舞鶴市特別職報酬等審議会への諮問など、様々な手法により検討し、その結果（定数は1人減、報酬は現状どおり）を公表

【ICTの活用】

令和3年6月以降で合計5回のオンライン委員会を開催

グループウェアやペーパーレス会議システムを導入により、活動の充実と効率化を促進したほか、災害時以外にも効率的な運用ができるようオンライン会議の体制を整備し、オンライン委員会を開催

【議会における危機管理の検討】

議会における災害対応の方針や行動マニュアルを取りまとめ、訓練等を通じて検証と見直しを随時実施

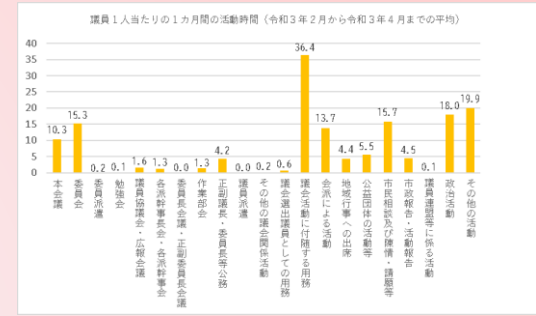
【議会予算の在り方の検討】

令和2年と3年は感染症対策への
充当を念頭に議会費を減額補正

予算編成権がない中で、議会として必要な取組に要する経費をどのように確保するか、議会予算作業部会において議会予算の在り方とともに検討し、議会の意思を市に伝達



定数に関する意見交換会



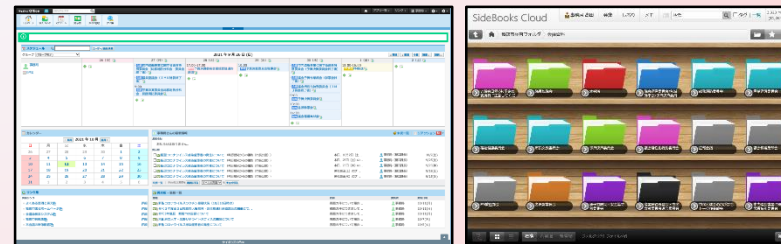
議員の活動量調査



オンライン会議に関する課題抽出



オンラインで開催した議会運営委員会



グループウェアとペーパーレス会議システム



防災訓練